

析

セキ

8画
一 十 木 析 析

なりたち おので木を切ることを表した字で、木と斤との会意字。木に限らず、広く物を細かく切り分けること。ばらばらにする”意味に用い

いみじゆく) 木を割る。

▼ばらばらにする。

分析：①物事のなりたちを要素ごとに分けて調べること

②化学で物質の成分を調べること。例 定量分析

析出：化合物を分析して、ある要素を取り出すこと。また、統計資料などを分析して、傾向などを知ること。

解析：①細かく分析すること

例 データを解析する。

②解析学。数学の一分野。微分学と積分学から成る。



析断

断

ダン

5画

一 半 米 迷 断 断

なりたち 旧字体は断。糸が切り離されてばらばらになった意味を表した断と斤との会意字。”たち切る”こと。転じて、”はっきり決める・思い切つてすること。また、”ことわる”こと。

いみじゆく) たち切ること。

▼たち切ること。

断絶：切れて絶えること。たち切つてやめてしまうこと。

例 国交断絶

断片：ばらばらに切れたものの一部分。例 断片的(まとまりのないさま)。

言語断絶：もつてのほかであること。

▼決定する。

判断：あれこれ考え合わせて決めること。

断定：決定的な判断を下すこと。

独断：自分だけの考えで勝手に決めること。例 独断専行(独断で勝手に行うこと)。

▼ことわること。

無断：ことわらずにすること。

よみかた 断言・断食・断然・断続・断腸・断念・英断・横断・間断・禁断・診断・油断

新

シン

2画

一 立 立 辛 糸 新 新

あたらしい・あらたにい

いみじゆく) 新

▼あたらしい。

新鮮：新しくいきが良いこと。新しく汚れていないこと。例 新鮮な空気を取り入れる。

新人：新しく参加した人。新米：①その年にとれた米。②古米。③新前が変化した言葉。新たに仲間入りして、まだ慣れていないこと。また、その人。

なりたち 古い字体は新で、木と斤と辛との会意形声字。木を切つたとき木を作ることを表した字。薪の本字。木の切り口のあたらしいことから、あたらしい”という意味に用いられるようになる。

新鋭：新しく進出して来て、勢いが鋭いこと。人・もの。

例 最新鋭のジェット機。維新：さまざまなことが改められて新しくなること。例

明治維新 革新：制度や組織を改めて新しくすること。例 保守

よみかた 新規・新居・新興・新入・新妻・新盆・刷新・清新



薪

シン

16画

一 艹 薪 薪 薪 薪

たきぎ

いみじゆく) 薪

▼たきぎ。

薪水：薪と水の意味で、煮炊きのこと。例 薪水の労を取る。(他人のために炊事の世話をする)。

薪炭：薪と炭。燃料。 薪嘗胆(しんじやうたん)：(恨みを晴らすため)苦心を重ねて好機を待つこと。中国の故事で、呉王夫差が父の仇(あだ)を討とうと薪の中に寝たこと(臥薪)と、越王勾践(ごうせん)が敗戦の恨みを忘れないため苦しい胆(い)を毎日嘗(な)めたこと(嘗胆)から生まれた言葉。

なりたち たき木という字である薪が、あたらしいという意味に使われるようになったため、これに”くさかんむり”を加えて、たき木”を表すようになった。

薪



新薪